

おめでとうございます。初夢とは2日の夜から3日の朝にみる夢をいうのが一般的だそう。ご飯やパンの主食を食べる夢は安定した状態を示し、お金が出ていく夢はお金が入る暗示だとか。なにはともあれ平和で健康でよい1年になりますように。

■平成29(2017)年 年頭のご挨拶

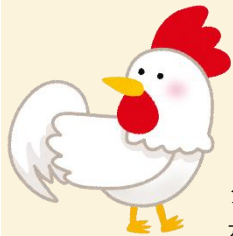
年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

旧年中は当センターの事業活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年4月から施行された障害者差別解消法、そして今年4月から施行される三重県手話言語条例などにより、聴覚障害者を取り巻く社会的障壁が少しずつですが、変わろうとしています。それは、昨年から手話通訳者派遣依頼の急増や聴覚障害者への合理的配慮について企業からの問い合わせや相談が増えたことに表れています。



しかし、一方で相模原障害者施設での痛ましい事件や、兵庫や京都での聴覚障害者の飲食店入店拒否などがおきました。



今後は、聴覚障害者への支援だけでなく、社会的障壁をなくし、共生社会の実現を目指すことが、当センターの大きな役割になろうと感じています。私たち職員一同、「インクルーシブ（全ての人が自分らしく生きること）」という、当センターの理念に立ちかえり、ひとつずつ、目の前のできることから取り組んで参りたいと存じます。

どうぞ、本年も変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

■三重県手話施策推進計画のパブコメ募集！

平成28年6月30日に成立した三重県手話言語条例に基づき、県では手話を使用しやすい環境を整備するために必要な施策を定め、計画的に推進するために、「三重県手話施策推進計画」を策定することとしています。

「三重県手話施策推進計画」の中間案が取りまとめられ、現在、皆様からのご意見を募集中です。

●意見募集期間：

平成28年12月15日(木)から平成29年1月13日(金)まで。

●意見の提出方法：

意見用紙に、住所、氏名、連絡先を記入のうえ、郵送、FAX又はメールのいずれかの方法により提出。

●資料の入手方法：

三重県HPからダウンロードしてください。
当センター窓口でも資料を配布しています。

詳しくは三重県のホームページをごらんください。

■第1回評価委員会を開催しました

昨年12月9日に、当センターにて19時から、平成28(2016)年度第1回評価委員会を開催しました。

「センター人事体制報告」「評価委員会委員長選出」「平成27年度事業総括報告について」「平成28年度第1・2半期報告について」等の議題について、評価委員の皆さまから大変貴重な意見をいただきました。今後の事業運営に反映していきたいと思っております。

なお、評価委員会委員長は、全要研三重県支部の坂下さんが選出されました。任期は平成28年度から平成29年度の2年間です。

評価委員会は毎年度2回程度実施することになっており、今回は、2月あるいは3月に開催を予定しています。

評価委員会の議事録は、当センターのホームページでも公開されていますので、ぜひそちらもごらんください。

字幕映像ライブラリー NEWS

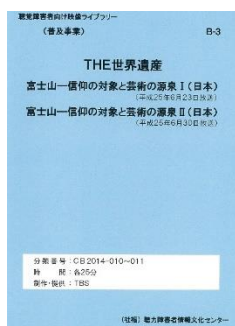
みなさんにとって、2016 年はいかがでしたでしょうか？今年
はもっともっという一年にしたいですね。年明けには縁起のい
いものをたくさん見て、いい気分で新年をスタートさせたいもの
です。縁起の良いものといえば？それはやはり富士山でしょう！

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」
とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるん
です。詳しくは当センターホームページで！



■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！

『THE 世界遺産 富士山-信仰の対象と芸術の源泉 I、II』



古くから日本人の心のよりどころとなってきた富士山。
四季折々に見せる美しい景色は人々を魅了し続けている。
しかし、その素顔は「火の山」、宝永噴火の火口には今も噴火の激しさを物
語る溶岩が残っている。
また樹海の地下には、マグマが作った巨大なトンネルもある。
番組では、火口の内部などふだん目にしない、火の山としての富士山の姿を
中心に、噴火が産んだ自然造形と富士山信仰のつながりについて描いていく。

■センター登録団体等の行事のお知らせです！（手話通訳や要約筆記付き）

■教育フォーラム「全日本ろうあ連盟の人工内耳に対する見解から学ぶ」

全日本ろうあ連盟は、人工内耳の現状と課題を整理した「人工内耳に対する見解」を12月1日に発表しました。三聴障協社会福祉対策部が、教育フォーラム「人工内耳に対する見解から学ぶ～緊急学習会～（仮題）」を開催します。

日時：2017 年 1 月 22 日（日）
13：30～16：00

場所：三重県聴覚障害者支援センター

講師：小中 栄一氏（一財）全日本ろうあ連盟 副理事長

演題：『人工内耳に対する見解とは？仮題』

資料費：一般 500 円

情報保障：手話通訳者、要約筆記者を配置する予定です

■平成 28 年度 第 5 回「要約筆記 実践セミナー」

日時：平成 29 年 2 月 4 日・5 日（土・日）

両日とも 10:15 から受付

時間：・午前の部（10:30～12:30）

・午後の部（13:30～16:00）

場所：両日とも、津市センターパレス 地下研修室

内容：※①は半日のみの予定ですがどこに入るかは未定

①選挙の情報保障と今までの運動についての学習

②ノートテイクごっこ実技（統一試験過去問を含む）

参加費：1 日 500 円（非会員 600 円）

半日 300 円（非会員も 300 円）

難聴者および見学者は無料

情報保障：要約筆記（講義部分のみ）、磁気誘導ループ

対象：・要約筆記の実技を勉強したい人（講座受講の有無を問わず）

・内容に関心のある人（聴講・見学のみの希望可）

※会場準備の都合上、見学も含めて基本は要申し込み

備考：・三重要連加盟サークル員の参加費は支部会員と同額

・実技をしたい人は、手書き・PC どちらか明記のこと

・当日参加も可ですが、準備の都合上、できるだけ事前申込みを。

申込＆問合せ：（e-mail）zenyouken_mie@yahoo.co.jp